

編集後記

昨年度の特集テーマ「資質・能力」に引きつづき、今年度は「資質・能力とその評価」を設定し、執筆者の先生方にそれぞれのご専門的な立場から、様々な角度で論考していただきました。

大学全入時代と言われるようになって久しいですが、多様な学生が入学してくる中で、どのように学生の資質・能力に向き合い、育て、評価し、送り出していくのか、評価する側の資質・能力も問われているように思います。

高等教育に限った話ではありませんが、グローバル化や情報通信技術の進展など社会が急速に変化していくなかで、今までのスタンダードが通用しなくなる場面があると思います。そのような場面に直面したとき、拒絶反応を起こさず、柔軟に対応し変化を認めるということ、様々な背景を想像し柔軟に対応する力、さらに知識・技能を刷新し続けることは、多様性に対応する重要な資質・能力であると、先生方の論考を通して感じ得ました。

最後になりますが、着任一年目ということもあり、至らぬことも多々ありましたが、様々な方からご協力をいただき、今年度も無事発行の運びとなりました。ここに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。(田口)

平成30年度 教育研究所研究員

所長兼研究部門長	原 克彦	メディア学部メディア学科教授
FD 部門長	太原孝英	外国語学部韓国語学科教授
IR 部門長	今野裕之	人間学部心理カウンセリング学科教授
主任研究員	奈良雅之	保健医療学部理学療法学科教授
研究員	藤谷 哲	人間学部児童教育学科准教授
研究員	西山里利	人間学部子ども学科准教授
研究員	前田ひとみ	外国語学部英米語学科准教授
研究員	中西太郎	社会学部メディア表現学科専任講師
研究員	矢野秀典	保健医療学部理学療法学科教授
研究員	上田 昇	看護学部看護学科教授
研究員	立石雅子	保健医療学部言語聴覚学科教授
研究員	峯村恒平	学長付助教
研究員	田口侑果	教育研究所助手

(執筆者の所属は平成31年3月末現在のものです)